

令和5年度 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター事業実施報告

■ 資料の収集・保存

- (1) 当館資料として新たに受け入れた資料（未整理・未登録資料の解消を含む）
 - 刺し子など 計7件（加藤シヅエ氏寄贈資料）（3月）
 - クマ木彫置き物など 計10件（中村啓一氏（元副知事）コレクション）（3月）
 - ※「〇月」とある月は、資料としての登録を完了した（＝収蔵番号を付与した）時期です。
- (2) 文書・音声資料の公開
 - 公開準備を終えた資料 0件
 - 資料の公開に向けた関係者との協議（承諾書の受領）2件（これに伴う新規公開資料2件）

■ 展示

- (1) 当館総合展示内クローズアップ展示（クローズアップ展示3・4の2か所を主に分担）
 - クローズアップ3
 - 「アイヌ語学習教材のいろいろ」（4月14日～8月10日）
 - 「小樽アイヌが経験した近代」（8月11日～12月13日）
 - 「アイヌの子どもの遊び歌一年寄りカラスはどうした？」（12月16日～2024年4月11日）
 - クローズアップ4
 - 「北海道博物館が所蔵するトンコリ（五弦琴）」（4月14日～8月10日）
 - 「北海道・東北北部のアイヌ語地名―山田秀三の地名研究から―」（8月11日～12月13日）
 - 「モノから見るアイヌ文化―首飾りのいろいろ」（12月16日～2024年4月11日）
- (2) 巡回展
 - ・ 第14回アイヌ文化巡回展・美唄市郷土史料館企画展「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から」（7月7日～9月3日、共催・会場：美唄市郷土史料館） 481名
関連講座 1回（大坂、コメンテーター：谷本晃久氏（北海道大学））
 - ・ 第15回アイヌ文化巡回展 2023 in 札幌市「札幌の地名と歴史を尋ねて」（8月26日、かでる2・7（札幌市）、協力：公益社団法人北海道アイヌ協会） 160名
 - ・ 第16回アイヌ文化巡回展 in 奥尻町（10月1日～22日、奥尻町海洋研修センター、共催：奥尻町教育委員会） 161名
 - ・ 第17回アイヌ文化巡回展・釧路市立博物館企画展「久保寺逸彦～釧路が育んだアイヌ文学研究の泰斗～」(11月18日～2月4日、共催・会場：釧路市立博物館) 3,338名
関連講座 3回（佐々木、小川、遠藤）

■ 調査研究（アイヌ民族文化研究センター職員が参画・実施している調査研究課題）

- (1) アイヌ民族文化研究センターが主体となって立案し実施する研究プロジェクト
 - ・「北海道博物館収蔵資料の整理・分析に基づくアイヌ文化資料の利活用と総合的研究」
 - ・「アイヌ文化に関する基礎的・総合的・学際プロジェクト」
 - ※いずれも2020～2024年度（5年間）
- (2) 北海道博物館全体で取り組む海外との共同研究等のプロジェクト（2件）
 - ・「北海道とサハリン（仮）」※（サハリン州郷土博物館との共同研究）
（※プロジェクトが新たに切り替わる時期に新型コロナがあり、再開できていないため「仮」で準備中）
 - ・「寒冷地の自然と適応」（カナダ・ロイヤルアルバート博物館との共同研究）
- (3) 北海道博物館全体で取り組む「樺太記憶継承事業」※
（※「全国樺太連盟」による寄贈資料の整理と利活用・研究を中心とした事業）
- (4) 外部資金（科研費等）を活用した調査研究 6件
 - ・アイヌ音楽の旋律分析研究、及び北方諸民族の音楽との比較研究に向けた基礎的調査（甲地、科研費・基盤C、2018年度～2023年度）
 - ・近代日本におけるアイヌ民族の〈社会への参画〉の歴史に関する基礎的研究（小川、科研費・基盤C、2020年度～2023年度）

- ・アイヌ口承文学における話型分類の研究（遠藤、科研費・基盤 C、2020 年度～2023 年度）
- ・博物館収蔵アイヌ民具資料の考古学的手法による分析：移入品としての漆器を対象として（大坂、科研費・基盤 C、2022 年度～2025 年度）
- ・考古学的手法を導入した移入品アイヌ民族資料の基礎的研究－耳飾りと首飾りを題材に（亀丸、科研費・基盤 C、2023 年度～2026 年度）
- ・アイヌ文献目録（2001～2022）（小川、科研費・成果公開（データベース）、2023 年度）

■ 教育普及事業

（1）冊子等の配布

- ・アイヌ文化紹介小冊子（巡回展会場で随時配布、学校等の求めに応じ随時送付）

（2）行事

〔ミュージアムカレッジ〕（※講話タイプの講座）

- ・じっくり聴こう！アイヌの音楽 「神謡」の旋律（5 月 29 日）
- ・じっくり聴こう！アイヌの音楽 合唱のいろいろ（7 月 9 日）
- ・「開拓」とアイヌ民族の土地（7 月 15 日）
- ・アイヌ語アーカイブを使ったアイヌ語学習（10 月 7 日）
- ・ハレの日の装い（1 月 7 日）

〔子どもワークショップ〕（※小中学生を対象にした参加型行事）

- ・「アイヌ音楽 うたって・おどって・ならして」（7 月 30 日、講師：スルク&トノト）

〔アイヌ語講座〕

- ・アイヌ語ブロックでアイヌ語を学ぼう（全 4 回、4～7 月の各月 1 回開催）
- ・アイヌ語講座オンライン「アイヌ語の物語を読む」（全 6 回、10～3 月の各月 1 回開催）

〔特別イベント〕

- ・アイヌ音楽ライブ「マレウレウコンサート」（10 月 29 日、出演：マレウレウ）
- ・文化の日講演会「アイヌの隣人たちーウイльтаのことばを学ぶ」（11 月 3 日、講師：山田祥子氏（室蘭工業大学））

（3）団体対応

グループレクチャー（見学団体向けの 15 分程度の講話）のうち、
「アイヌ文化の世界」をテーマとした実施件数：26 件

■ 博物館ネットワーク（国立アイヌ民族博物館等との連携）

- ・国立アイヌ民族博物館運営委員会委員（小川正人）
- ・国立アイヌ民族博物館運営委員会のワーキング会議構成員（大坂拓、小川正人）
- ・国立アイヌ民族博物館ネットワーク運営委員会委員（小川正人）

■ 情報発信・広報

- ・当館ウェブサイト内「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」の一部改修
- ・当館広報誌「森のちゃれんがニュース」の「アイヌ民族文化研究センターだより」等
- ・レファレンス対応 84 件

■ 人材育成機能の強化と社会貢献

- ・各種委員・共同研究員等への就任 18 件、非常勤講師 2 件
- ・依頼講演（講座・講演会）等への職員派遣 12 件
- ・外部刊行物等への執筆協力 4 件

■ 研究成果の発信

- ・当館研究紀要への発表（『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』9 号）
調査報告 1 本、資料紹介 2 本
- ・学会等での発表 1 件、外部の学術雑誌等への発表 2 件